いつもありがとうございます。

W35 青果発注書をお送り致しました。

お盆休み中、何かと御面倒をお掛けしたかと存じます。

本日より、業務再開しております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

・「今年が初めて登場」商品が多いです。(販促部:吉田紗知子)

今年が初めて登場の商品太多了

有機 当麻のパプリカ[赤・黄]

有機 Organic ピーマン

有機 谷下さんのOrganic とまと

特裁 渡邊さんのミニトマト[赤・アロマ・イエロー・mix]

既存商品が早期終了...が、今年(気候など...) いろんなピーチを救済し、今後も輝きそうと期待できる商品達です。

今年、初めて登場する産地・商品が、この1、2週で、一気に出ています。

中には、

発注書には記載がまだ無いが、

既存商品の欠品による、代替え商品として、案内が来た
という商品もあるのではないのでしょうか。

今年は、気候変化が激しく、

収穫スケジュールが早まったり、予想量よりも少なかったり、

「例年通り」が通じない年です。

(特に水分が大切な果菜類は、他産地・企業も苦戦している様子が伝わってきます…)

だから、ずっと欠品…で言い訳は無いので、

各産地さんに情報や、協力をしていただきながら、

新しい産地さん・商品（勿論アルファ基準で、良いと思える商品）を揃えた結果、

こうなりました。(上画像参照)

…なので、販促物制作もギリギリです。

産地の住所と品種しか情報が無い時点で、PR 資料作成をしたり、

も、直近週は多かった気がします。

一例であれば、渡邊さんのミニトマト等は、

新登場時は情報が本当に少なく、制作時本当に焦りましたが、

登場後少しづつ、糖度が高かったり、色が綺麗だったり と、

情報が徐々に揃っていく 状態が上記新商品では多いです。

私が聞きたい側なんです!!!!!!と思いつつも、

かき集めて商品ページには情報記載、
徐々に分かってきたら更新…を繰り返しております。

私は販促部門なので、その事を中心に記載しましたが、
例えば、商品の輸送・パック方法等、
新しく行うからこそ、改善点も出てくるかもしれません。

今年は今後も、同じ傾向が続くかもしれません。

お手数をおかけする事もあると思いますが、
引き続き、よろしくお願いいたします。

・にんにくと言えばやっぱりホワイト 6 片！

岩手県九戸市有機栽培 ORGANIC にんにく (有安海)

2 シーズン目になるでしょうか。

現行の兵庫県のにんにく金郷純白が、
1 年間通して取り扱いができなくなってきたと同時に、
やっぱりにんにくはホワイト 6 片も扱いたいよね。と

開発を進めてきて、昨年から取り扱いがスタートできるようになりました。

このにんにくは『みちのく有機共同農場』さんからの商品になるのですが、
その中でもアルファーとしては、福田農園さんという生産者限定で
有機栽培のにんにくホワイト6片を仕入れられています。

福田農園さんの ORGANIC にんにくの取り扱いは、
兵庫県の金郷純白よりも1カ月前後遅れるのですが、

2産地2栽培内容を同時に取り扱いが出来ますので、
お客さんの需要に合わせた品揃えが可能となりました。

ほとんどのお店でにんにくの販売価格が上がり、
Mサイズで198円販売、Lサイズで298円販売が主流をなっており、
中国産や裸売りが減ってきているようにも感じています。

今回ご紹介する有機栽培のにんにくは、規格としてはMサイズを取り扱いとなり、
納品経費を除く価格は、入数によって変わりますが
30p入りで175円/p、60p入りで165円/pになりますので、
有機栽培のにんにくが249円で販売しても
値入率が33.7%を狙えるので、かなりお勧めできます。

バイヤーは買い付けがメインの仕事になっているかと思しますので、
どのような商品を買付け、どのような売り場を展開し、
販売していくのかによって、得られる利益は大きく変わることがわかります。

そのどのような商品を買付けるのか、
どのような売り場を展開するのがとても大事になっていて、

その選定が企業方針とは関係なく、
バイヤーの個人的な思いや金銭感覚だけで選んでしまつては、
効果は半減し、利益を残せる商品であっても、
結果利益を残せない可能性も出そうです。

相場などの影響によりその商品の価格が上がってしまえば、
量目を落とした規格に変えてみたり、
その商品の取扱そのものを中止されることも少なくありませんが、
これでは売り場にあつたり、なかつたり、
あつても少量パックになっているお店は信頼性に欠け、
来店動機から外されてしまうことになるでしょう。

価値ある商品を、その価値を売り場で表現し、
その価値を理解してもらえるお客さまに対して、
アピールを続けていることが出来れば、
その商品を販売した時の利益は増加することは確実です。

その利益を最大化させる必要があり、
そのためには該当する商品のカテゴリすべてを見たとうえで、
価値レベルを松・竹・梅という考えに分け、
お店全部門・企業さま全体でその品揃えの構成比を統一することで、
新たなお客さまの層を集客することができ、
それが利益増に繋がり経営強化出来ることは確実です。

・本物の味！ 北海道産 十勝 和田農園 男爵 (販促部：生島 麻亜子)

和田さんのじゃがいもが取り扱い開始になります！

和田さんのじゃがいもの取扱品種としては、

男爵・メイクイン・キタアカリとなり、

その中でも男爵・メイクインは弊社が 25 年以上取り組んでいる商材です。

過去の測定結果を見ても(ホクホク 具合がわかる)ライマン価が、

安定して高い事と味もしっかりしているため評価して頂いています。

既に御存知の方は多いと思いますが、

じゃがいもの他にもネバリスターや、

今はお取り扱いはありませんが、長いも・ごぼう など、

和田さんの作られている作物はどれも美味しいですので、

是非シリーズとしてお取り扱い頂きたいと思います。

美味しさは土づくりの工夫から来ているようなのですが、

以前お会いした際には、

土壌のミネラルバランスを整えるために、

使用する海藻に付着している石の処理を、

どうしようかと悩んでいらっしゃいました。

何十年も作物を栽培されていても、栽培方法を固定するのではなく、

色々と試行錯誤を続ける事が、

和田さんの育てる作物の美味しさに繋がっているのだと思います。

そんな『和田さんのじゃがいも』ですが、粗利率の事を考えると、

10kg 箱で仕入れて店舗でパックして頂く事をお勧めします。

※下記の卸単価と粗利率の計算はセンターフィーを含んでいません。

男爵	卸単価（原価）	販売単価	粗利率
LM.約 500g/袋	150 円	199 円	24.6%
LM.10kg/箱を 500g パック	132.5 円	199 円	33.4%

※容器代・袋詰め人件費として 10 円/p 加算しています

店舗でパックするのはお店の負担にはなりますが、

加工の際の人件費は原価に上乗せしているため、

1 時間で 100 パックしかできなくても、

500g パックで仕入れた時と比べて 1,750 円の利益が出る事になります。

1 時間で 150 パックできた時の利益は 2,625 円ですし、

パートさんの負担が少ないグラム売りをした場合はもっと利益が出ます。

男爵だけでなく、w36 の発注書ではキタアカリ、
w37 になるとメークインが取扱開始予定となっております。
売れる数の多いじゃがいもですので、美味しい『和田さんのじゃがいも』を
和田さんシリーズとして売り場に並べてみるのも面白い売り場になると思います。

是非ご検討を宜しくお願い致します。

・岐阜県産 有機栽培 谷下さんの Organic トマト (吉田麻衣)

法律の関係で
完全無農薬という表現は
できないけど、
実際に完全無農薬での
栽培だそうです。

加えて、有機なので
当たり前ですが
化学肥料も使いません。

使用する肥料は有機肥料ですが、動物性堆肥は使用しないそうです。
これは遺伝子組み換えの飼料を食べた家畜、
もしくはホルモン剤を使用した家畜の堆肥かどうかの判別が不可能なためとなります。
他には自作の麦や豆などで作成した緑肥を鋤き込んで使用します。
こちらは極力自分の農場内で循環させることを目的にやっています。

上記のことは、畑を育てる為の菌を増やすのが目的だそうで、
使用する肥料は上記のものに加えて微生物性のものを使います。

こちらの内容は作物の三栄養素である、

窒素、リン酸、カリウムに加えて

その他の微量元素（マグネシウムなど）をたくさん含むものを使用します。

谷下さんはこのように肥料や畑に気を配って栽培することにより、

じっくり育て、樹を太くすることにより長く収穫できるようにしています。

谷下農園さんの特徴の一つに

マイクロナノバブルを含む水を使用していることが挙げられます。

谷下農園さんの圃場は

スズラン高原の雪解け水が山から湧いて出てくる位置にあります。

その水をくみ上げていったん貯水槽に貯めます。

そこにマイクロナノバブルを発生させる装置を取り付け、

マイクロナノバブルを含む水を生成します。

マイクロナノバブルは0.1mm以下の泡のことをいうみたいですが、

それを含む水を使用すると農業には良い事が多いみたいです。

谷下さん本人としても正直なところ確証はないみたいですが、

使用していると、畑の窒素を減らせる・畑の微生物、菌の活性化に役立つ・

土の深部まで水が浸透するので、根が張りやすくなるという効果があるそうです。

色々なWEBサイトで念のため確認してみると、

微量元素であるマグネシウムなどの栄養素は、

マイクロナノバブルに（電荷の関係で）くっつく性質がある為、

栄養素が集積される（集まってくる）。

植物細胞よりも泡が小さいので細胞に吸収されやすい。

つまり、作物を美味しくするための微量元素を
植物が吸収しやすい状態になるということです。

上記の肥料、マイクロナノバブル水を使用することによって、
今年は昨年と比較して早く収穫ができ、いいものになったという話です。
昨年と比較すると、肥料・水以外は
全て定植などのスケジュールも変更していないということなので
おそらくいい影響があったという風に話していました。

圃場のある萩原町は
下呂市の中でも高山市よりで標高が 800mと
結構高いです。
加えて益田風という強風が吹くため、
夜が涼しく日中と夜との寒暖差が
非常に大きいのも特徴です。

訪問した 7 月 23 日は到着時 14 時ごろでしたが、
その時の気温は 35℃とかなりの暑さでした。

日陰で話をしていましたが、さすがの暑さで結構汗をかきました。
しばらくすると風が強くなり一気に気温が下がるのを感じました。
帰路に就く 16 時半ごろには周辺の天候状況もありましたが、
道路で表示される気温の掲示板が 24℃の文字。
かなりの変化がうかがえます。

他にも谷下農園さんのトマトは、ふるさと納税にも採用されています。
こちらはリピートでの注文も多いそうです。

地元での評判も良く、飲食店で採用されているようで、トマトが美味しいということで、
どこのトマトか質問された際に『谷下農園さんのトマトだ』と返事をしたら、
やっぱりかと納得されるくらいには地元での評判も浸透しています。

ただ甘いトマトを作るのではなく、
トマトらしいトマトで美味しいトマトを作るために試行錯誤している
谷下農園さんにとっては非常にうれしいと話していました。

生産者の谷下農園さんの主観ではあるものの
自信をもって美味しいと言えるトマトだそうです。
主観とはいっても上記の評判が客観的にも評価がされていると思えます。

・今週の成分測定レポート (吉田紗知子)

■北海道産 特別栽培 フルーツ夢人参・メマンペツ

測定日	産地・生産者	品種		重量	硝酸態窒素濃度	糖度
					ppm	
2025/8/12	北海道産 フルーツ夢人参・メマンペツ	晩抽天翔 他	大	178.4g	2.0	9.7
			小	152.3g	検出せず	9.9
			傷有	153.5g	1.2	10.9

北海道産・メマンペツ人参を測定しました。
前は 2024/11/7 に測定を行っています。

【糖度】

(前回)9.0 度→

【大】9.7 度 【小】9.9 度

【傷あり】10.8 度

前回よりも高い数値が検出されました。

又、傷ありの個体が一番数値が高い結果となっています。

【硝酸態窒素】

(前回)20.8ppm→

【大】2.0ppm 【小】検出せず 【傷あり】1.2ppm

メマンペツ人参は、夏に測定を行った際、低い数値になる傾向ですが、

今回の数値はさらに低い結果となりました。

・今週の栽培台帳調査報告 (中澤佐江子・中澤和大)

北海道産 特別栽培 無限樹の栗南瓜【恋するマロン】

品目 カボチャ

品種 恋するマロン

特別栽培農産物

栽培責任者 有限会社無限樹 大川 高二

住 所 北海道苫前郡苫前町字三溪 87 番地

連絡先 0164-65-3783

確認責任者 有限会社無限樹 大川 博文

住 所 北海道苫前郡苫前町字三溪 87 番地

連絡先 0164-65-3783

削減対象農薬 2回 当地比 7割減

化学肥料(窒素成分) 6kg 当地比 5割

ラベル表記都合の為、表示は5割減 5割減 で表示します。

■台帳 NO.3402

栽培面積 450a

栽培本数 550本/10a

予想反収 550個/10a

収穫期間 2025/8/9 ~2025/8/25

ネオニコチノイド農薬使用無し

■昨年の実績

台帳 NO. 3278

化学肥料 6kg 去年と同様

削減対象農薬 3回 → 2回

トンネル 150a → なし

■ 今季の作柄

平年通り

宮崎県産 竹下さんの土ごぼう

品目 ゴボウ (中澤佐江子)

品種 柳川理想

栽培概要

生産者 竹下 伸太郎

住所 宮崎県都城市高城町有水

節減対象農薬 3回 当地比7割減

化学肥料 (窒素成分) 14.0kg 当地比1割減

■ 台帳 NO.3414

栽培面積 150a

栽培本数 12,500本/10a

予想反収 : 3t/10a

収穫期間 : 2025/6/18~8/1

ネオニコチノイド農薬使用無し

■ 今年初めての取り扱いです。

福井県産 **特別栽培** 吉村さんのキタアカリ

品目 ジャガイモ **特裁へ変更** (中澤佐江子)

品種 キタアカリ

特別栽培農産物

栽培責任者 : (株)フィールドワークス 吉村 智和

住 所 : 福井県あわら市北潟 271-60-1

連 絡 先 : 0 7 7 6 - 7 9 - 1 0 1 1

確認責任者 : (株)フィールドワークス 吉村 みゆき

住 所 : 福井県あわら市北潟 271-60-1

連 絡 先 : 0 7 7 6 - 7 9 - 1 0 1 1

節減対象農薬 栽培期間中 不使用

化学肥料(窒素成分) 2.0kg 当地比 8 割減

■ 栽培概要から特別栽培に変更になりました。

■ 台帳 NO.3404 栽培概要から【特別栽培】へ変更になりました。

栽培面積 少量

予想収量 2t

収穫期間 2025/7/12~14

ネオニコ使用なし*

保管温度帯 1 2℃

■ 昨年の実績は

節減対象農薬 1回9割減、

化学肥料(窒素成分) 2kg、8割でした。

徳島県産 佐々木さんの梨【豊水・幸水】

品目 梨

品種 幸水・豊水

栽培概要

栽培責任者 佐々木 栄治

住 所 徳島県鳴門市大麻町牛屋島字中北 16-2

連 絡 先 088-689-2018

確認責任者 佐々木 和仁

住 所 徳島県鳴門市三ツ石字芙蓉山下 145 番地

連 絡 先 090-9715-3458

削減対象農薬 32回 当地比 2割減

化学肥料（窒素成分） 5.38kg 当地比 8割

(ラベル表記都合の為、表示は 1割減 8割減 で表示します。)

■台帳 NO.3402

栽培面積 29a

栽培本数 60本/10a

予想反収 幸水(0.7t) 豊水(1.0t)/10a

収穫期間 2025/8/1 ~2025/8/26

ネオニコチノイド農薬使用無し

■昨年の実績

台帳 NO. 3269

化学肥料 4.8kg → 5.38kg

削減対象農薬 37回 → 32回

■ 今季の作柄

雨が降らなすぎて大きくなってくれません。幸水はまれに大きいやつでも 2L サイズ。
M,S サイズがほとんどで量は期待できません。が、糖度は出ているはず。
豊水はもう少し収穫までに時間あるから、雨さえ降ってくれたらなあと思ってます

北海道産有機栽培 Organic ピーマン

品目 ピーマン

品種 ピクシー

有機農産物

生産者 田中 秀樹

住所 北海道上川郡当麻町緑郷 4 区

認証機関 特定非営利活動法人 北海道オーガニック推進協会

■ 台帳 NO.3416

栽培面積 9a

ネオニコチノイド農薬使用無し

■ 今年初めての取り扱いです。

北海道産 有機栽培 坂本さんのメロン(赤肉)

品目 メロン

品種 ゆめてまり(赤)

有機栽培農産物

栽培責任者 坂本 正男

住 所 北海道空知郡中富良野町東5線北8号

連 絡 先

確認責任者 坂本 正男

住 所 北海道空知郡中富良野町東5線北8号

連 絡 先

■台帳 NO. 3399

栽培面積 14a

栽培本数 約 379 粒/10a

予想反収 約 1,212kg/10a

収穫期間 2025/7月上旬 ~ 2025/8月末

ネオニコチノイド農薬使用無し

■昨年の実績

台帳 NO.3261

昨年と計画変更なし。

・新登場

北海道産 有機栽培 Organicピーマン

北海道産 特別栽培 フルーツ夢人参・メマンペッ

北海道産 特別栽培 無限樹の栗南瓜・恋するマロン

徳島県産 佐々木さんの梨・豊水

北海道産 有機栽培 ミディパプリカ赤・黄

熊本県産 特別栽培 吉田さんのレモン・りのか

北海道産 和田農園・男爵

・商品案内変更

北海道産 特別栽培 渡邊さんのミニトマト・・・原体出荷一時取り止め。

兵庫県産 特別栽培 フルーツ夢人参・八木さん・小・・・数量限定案内

熊本県産 特別栽培 フルーツ夢人参・藤本姉妹・小・・・数量限定案内

北海道産 有機栽培 当麻のピーマン・・・休止

山形県産 特別栽培 遠藤さん達の行者菜・・・再開

中国産 産地トレース可能松茸・・・1 ケース単位での出荷案内開始。

2 ケース単位だと送料の面で有利になります。

高知県産 特別栽培 武政さんのチンゲン菜・・・一部規格で再開。

・終了

青森県産 特別栽培 フルーツ夢人参・山本さん

沖縄県産 特別栽培 栗野さんのハワイパイン

ニュージーランド産 防カビ剤不使用ライム

鹿児島産 高橋さんの新じゃがいも

・9月新登場予定

長野県産 特別栽培 志賀高原りんご・サンつがる・・・w36 より新登場予定

青森県産 特別栽培 津軽りんご・サンつがる・・・w36 より新登場予定

熊本県産 特別栽培 吉田さんのレモン・・・w36 より新登場予定

北海道産 和田さんのキタアカリ・・・w36 より新登場予定

北海道産 特別栽培 金子さんブルー・サンブルー・・・w37 より新登場予定

青森県産 特別栽培 津軽りんご・きおう・・・w37 より新登場予定

北海道産 和田さんのメークイン・・・w37 より新登場予定

それでは、今週も御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます

有限会社アルファー

吉田清一郎